

## 第25回 青少年文化体験フェスタ開催される

7月2日(土) 狭山市立狭山台小学校で開催。体験者数延べ360人(小・中学生)と多くの参加者がありました。今年は新たにマジック教室、民謡、レクリエーションダンス、フラダンスが加わり、民謡(唄・太鼓・尺八)、子ども舞踊、瓢箪細工、おこと、和太鼓、日本舞踊、いけばな、世界の言葉であそぼう、手織り機で布作り、オカリナの演奏、の14講座と中学生ボランティア講座を体験してもらいました。



レクダンス

### \*子ども達の感想より\*

- ♥「私は1年生のころからマジックが好きだったけど、トランプや科学マジックばかりで、本格的なマジックを見たのははじめてです。すごいびっくりしました」(マジック教室)
- ♥「楽しくて、ていねいに教えてくれたので、とてもうれしかった。また今度やりたい」(民謡)
- ♥「AKB48のハロウィン・ナイトが楽しかった。またやって下さい」(レクリエーションダンス)
- ♥「先生たちもおもしろくて、レッスンもおもしろくて、授業を受けたいくらい楽しかったです」(フラダンス)

## 第25回 青少年文化体験フェスタを終えて

第25回目となる青少年文化体験フェスタが、多くの皆様のご協力によって、無事終了できましたことに心より感謝申し上げます。各小学校・中学校には、募集用紙の配布や回収などご協力をいただきました。特に会場校である狭山台小学校には、準備段階から当日まで、絶大なご協力をいただき、大変お世話になりました。今回、課題であった「体験児童の車で送迎」への対処として、大勢のPTAボランティアの方が配置についていただき、



フラダンス

安全に的確に送迎車を誘導して下さった結果、混雑・混乱は、見事に回避できました。また、中学生ボランティア、交通安全協会、更に、団体指導者やスタッフの皆さんにも多大なお力をいただきました。皆様に改めて御礼申し上げます。



民謡

青少年文化体験フェスタは、日頃体験できない文化体験の機会を子供達に提供することで、青少年の健全育成と市民文化の向上、発展及び普及に資することを目的としています。昨年度の体験者へのアンケートに、「マジック」の希望がありました。文団連の傘下には該当ジャンルの団体が無いので、プロのザクトさんをお願いした所、快く引き受けてくださいました。また、「民謡」「レクダンス」「フラダンス」の初参加があり、いずれも大変好評でした。その他の各団体でも指導内容に工夫がなされ、充実した教室が展開できました。体験終了後の子ども達の顔がとても満足気で、体験者からは、またやってみたく、とても楽しかった等々の感想が多く、主催者として嬉しく思います。今後も、開催校の環境条件(駐車スペースなど)を考えながら、より多くの参加者を受け入れられるよう、また、各教室とも、楽しく体験してもらえよう工夫をして参ります。

実行委員長 小川 豊子